

文化の丘

平成 30 年冬号
(ISSN 1345-2282)

No.360

- 1 知られざる県立中央図書館の役割 ～図書館職員研修開講～
- 2 今年度開講した研修
- 3 イベント情報
昔へいざない
こんにちは 館長です
- 4 静岡県の図書館 Snap Shot!

特集 知られざる県立中央図書館の役割 ～図書館職員研修開講～



図書館職員の学び

職員の学びの場を提供します

県立の図書館は県内に1館しかありません。それゆえ、県立中央図書館には、当館ならではの業務があります。それは「市町立をはじめとする県内の図書館を支援する業務」です。その一つに「職員向け研修の実施」があります。

県内には、市町立をはじめとするたくさんの図書館があります。その数120館以上。各館では多くのスタッフが働いています。ベテラン職員もいれば、初めて図書館に勤務することとなった新任職員もいます。

県立中央図書館は、県内各地の図書館で働く人たちに学びの場を提供しています。当館が実施する研修には県内各地から参加者が集まります。こういった研修は、普段顔を合わすことのない各館の職員が交流を図る貴重な機会です。

今回は、どのような研修を実施しているかについて、ご紹介します。

H30
職員
研修

基礎 研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館基礎研修 ● おうだんくん基礎研修 ● レファレンス基礎研修
専門 研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館広報研修 ● 大学・専門図書館研修 ● 資料保存研修 ● 児童・青少年サービス研修 ● レファレンス応用研修 ● 図書館サービス研修
運営 研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 館長研修会 ● 図書館運営研修 ● 図書館情報交換会
特別 研修	<ul style="list-style-type: none"> ● 出前レファレンス研修 ● 子ども図書研究室講座 ● 新刊児童図書巡回展示研修会

基礎研修

図書館職員にとって基本的な知識・技術を学ぶ研修。

図書館基礎研修：4/20

図書館職員に求められる基本的な知識の習得を目的として開催した研修です。対象は各図書館に配属されて間もない新任職員で、公立・大学・専門の各図書館から、館種を問わず毎年100人前後の参加者が集まります。

静岡文化芸術大学図書館・情報センター職員で日本図書館協会認定司書でもある堀内古季氏や、県立中央図書館の職員が講師となって、図書館のサービスや業務、職員としての振る舞い方、著作権の基本に関する講義を行いました。

講義後は、参加者同士の情報交換を行い、お互いの状況を話し合うことで自分を見つめ直す時間を設けました。

参加者からは、「図書館の使命が理解できた。意識を高く持って業務に従事したい。」「他の図書館の職員と交流できて良かった。」といった感想が寄せられました。



専門研修

図書館の各種サービスの担当者や経験者が、専門的・実務的な知識・技術を学ぶ研修。

資料保存研修：7/20

図書館と言えば、資料を「貸し出している」施設のイメージが強いのではないのでしょうか。実は、収集した資料を未来に渡って利用し続けてもらうために、資料を適切に保存していくことも図書館にとって非常に重要な業務です。

この研修では、資料が傷む要因やその対策といった資料保存の基礎知識を講義形式で前半に学びました。後半では、図書館の資料が利用される中で発生する傷みについて、実習形式で実際に修理を体験しました。

ページの破れや抜け落ちの補修、表紙が外れたハードカバーの修理などを、専門的な知識と技術を有する東京都立中央図書館の眞野節雄氏から直接学ぶことのできる貴重な機会ということで、参加者から多くの質問が出される活気のある研修となりました。



児童青少年サービス研修：9/27

今年の児童・青少年サービス研修は、中高生を中心とするヤングアダルトに対するサービスをテーマとした内容で行いました。

それより下の世代を対象とした児童サービスに比べ、不十分な体制で行われていることが多いヤングアダルトサービス。午前中は、県内の公立図書館で連携しながらサービスの充実を図っている愛知県の事例発表を聞いた後、静岡県で考えられる連携・協力の方策を、グループワークを通して考えました。

午後は、昨年、学校図書館に関する新書を出版された埼玉県立浦和第一女子高等学校の学校司書である木下通子氏から、学校図書館や学校司書の役割や活動、高校生の現状などを学びました。仕事や高校生に対する講師の情熱に、参加者は感じるどころが多かったようです。



運営研修

館長や管理職など中堅以上の職員が、図書館運営をめぐる現状や課題などについて学ぶ研修。

図書館運営研修：9/5

今年は、図書館の経営評価について、実践女子大学専任講師の須賀千絵氏から、講義とグループワークによって学びました。

経営評価の概要から実務、課題、課題への対処まで、専門的な理論も含んだ難しい内容でしたが、参加者からは「今後も経営評価の研修を開催してほしい」「このような考える研修も必要だと思う」という感想が寄せられました。

特別研修

自由な情報交換会、県立中央図書館職員の講師派遣、新刊児童図書巡回展示。

図書館情報交換会：東部 10/12

県内の図書館職員がお互いのサービスや仕事について自由に情報交換できる自己研修の場です。他館の取組や情報を聞いて参考にするだけでなく、自館の取組や情報を伝えて自館を客観的に見つめ直すことによって、県内の図書館のサービスの向上につながることを期待しています。

※中部は12/4、西部は11/28 実施予定

イベント情報 新着児童図書を語る会

参加
無料

「葵レク 新刊サロン」

当館の子ども図書研究室では、子どもの本を全点収集しており、毎月、200冊から300冊の新刊を受け入れています。

「新刊サロン」では、職員が子どもの本の新刊を紹介し、参加者の皆さんと自由に語り合います。

日時 2月20日(水) 午前10時30分～正午
会場 静岡県立中央図書館1階 子ども図書研究室
対象 児童書に関心のある15歳以上の方(中学生を除く)

講座に関するお問い合わせ、お申し込みは 静岡県立中央図書館 企画振興課へ
①電話 054-262-1246 ②FAX 054-264-4268
③Eメール webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp ④来館

県立中央図書館 開館インフォメーション

	本館	えほんのひろば
開館時間	月、火、土、日、休日 午前9時～午後5時 水、木、金(休日以外) 午前9時～午後7時	午前9時30分 午後6時
休館日	12月3、17、28～31日 1月1～4、7、21、31日 2月4、18、28日※注意	12月4、5、6、24、28～31日 1月1～4、14、22～24日 2月5、6、11日

※ 閲覧室再開準備のため、2月下旬より約1ヶ月間臨時休館します。ご不便をおかけして申し訳ございません。最新の情報については当館のウェブサイトにてご確認ください。

いばし 歴史文化情報センター

昔へ いざない

今年大河ドラマでは西郷隆盛が描かれ、開国や攘夷など激動の時代に生きた人々の立場や心情を実感された方も多いと思います。今回は駿府(静岡)に移った、将軍ではない徳川慶喜を紹介します。



駿府への移住とその生活

鳥羽・伏見の戦いに端を発した新政府軍と旧幕府軍との戊辰戦争中に慶喜は新政府軍に恭順の意を示し、水戸で謹慎、その後駿府に移りました。徳川秀忠の生母西郷局の菩提寺である宝台院で謹慎し、戊辰戦争終了後に謹慎を解かれました。その後の約30年間を静岡で過ごし、その間、元代官屋敷(現

在の浮月楼)、西草深町(現在の静岡英和女学院中学校・高等学校付近)で生活し、現在では「徳川慶喜公謹慎之地」、「徳川慶喜公屋敷跡」の碑が遺されています。

元代官屋敷に住み始めてからの慶喜は狩猟、油絵、写真、刺繍など多くのことに関心を示し、没頭しました。狩猟では安倍川河原や瀬名村などに出かけていました。また当時としては珍しい自転車、しかも前輪と後輪の大きさが異なる自転車を購入し、現代のように舗装されていない静岡の街を駆けた記録も残っています。一方、英明といわれた慶喜の姿が垣間見える瞬間も静岡時代にありました。大日本帝国憲法発布前年の1年間で45回、東京にいる弟の徳川昭武と憲法に関する手紙のやりとりをしています。明治以降の政治には関与しなかったものの、政治への関心が高かった一面をみせています。

写真：徳川慶喜屋敷跡(西草深町)
(歴史文化情報センター所蔵)

静岡県立中央図書館 歴史文化情報センター 〒420-0853 静岡市葵区追手町9-18 静岡中央ビル7階
電話 054(221)8228 FAX 054(255)3988 メール rekibun02@tosyokan.pref.shizuoka.jp

こんにちは 館長です

県立中央図書館に赴任して9か月が経ち新しい年を迎えることができそうです。

全ての仕事に当てはまることだと思いますが、外で見たり聞いたりしているだけではわからないことがたくさんあります。図書館もまたそうで、総合受付と閲覧室というメインステージが業務の大半を占めているものと、私自身、赴任前には考えていたところです。しかし、その何倍もの業務量を数えるバックヤードの業務があって、はじめて利用者の方が直接目にする図書館の表舞台が成り立っています。当館では、総務課、企画振興課、調査課、資料課の4課7班の組織構成で、県立図書館ならではの資料収集と様々なサービスを通じて、生涯学習社会を見据えた、すべての県民の皆さまの「知る」「学ぶ」を支え、県域すべての図書館をつなぎ、支援しながら「調べる、考える、解決する」期待に応えるべく、日々の業務に取り組んでいます。

近年は公共図書館に、街づくりや地域活性化、賑わいの機能を求める動きも活発になってきており、また、高齢化社会の進行に伴うサービスや障がい者の方へのサービスの一層の向上・取組など、時代の流れの中で、図書館に求められる課題は山積しているといえます。従来からの知的財産の収集・保管・提供という基本を大切にしながら、これらの課題にできる限り応えていくことが、これからの図書館に課せられた役割であろうと思います。

職員一同、予定されている新しい県立図書館にも生かしていかなければならない課題として、情報共有しているところです。

当館閲覧室については今も使用できぬ状況で、県民の皆さまには御不便・御迷惑をおかけしております。ホームページでもお伝えしておりますとおり、秋から補修工事が始まり、これに伴い、現在、一部の貸出サービスを停止しております。年度末までには閲覧室機能の回復を目的に動いているところです。御理解をお願い申し上げます。

静岡県の図書館 Snap Shot!

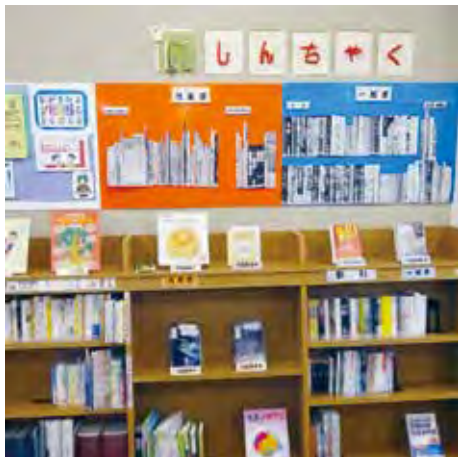
協力車で訪問した市町立図書館の様子をご紹介します。



2018.6.13 伊東市立伊東図書館



2018.6.14 西伊豆町立図書館



2018.6.20 清水町立図書館



2018.6.7 小山町立図書館



2017.12.14 浜松市立三ヶ日図書館



2017.12.7 河津町立文化の家図書館



2018.6.13 下田市立図書館



2018.5.18 松崎町立図書館

市町立図書館の振興のために、県立中央図書館は以下の事業を行っています。

- ▷ 協力車による運営相談や分館訪問を行い、図書館運営についてヒアリングや助言を行います。
- ▷ 各図書館の間で資料を貸し借り（相互貸借）する際の、情報と物流のネットワークを提供します。
- ▷ 各図書館で働く職員のスキルアップのため、公立図書館等職員研修を企画・運営します。
- ▷ 専門的な資料を収集し、市町立図書館の求めに応じて貸出（協力貸出）します。